一般財団法人 全日本交通安全協会 推薦

ドライブレコーダーは見た!
ドライバー心理から考える安全運転

上映時間15分　字幕版付き

DVD 本体価格 66,000円(税抜)

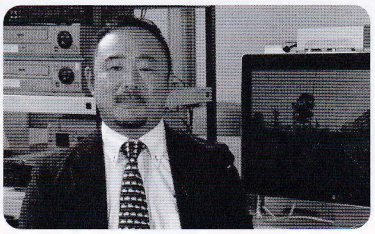
[C#6961]

東映株式会社 教育映像部
〒104-8108　東京都中央区銀座3-2-17
http://www.toei.co.jp/edu/

© 東映・テレビ朝日映像

企画意図

安全運転の基本は交通ルールを守ることです。しかし、交通ルールは知っているはずなのに、現実に事故は起きています。なぜでしょうか…。そこには、ドライバーの“こころの持ち方”が深く関わっているのです。このDVDでは、様々な事故の状況が刻み込まれたドライブレコーダーの映像と、その再現映像をもとに、ドライバーの心理に着目しつつ危険回避の方法を探ります。



解説　日本交通心理学会
主任交通心理士　島崎　敢

内容

解説は、日本交通心理学会・主任交通心理士の島崎敢さん。ドライバーが陥りやすい危険を指摘しながら、危険回避のポイントを具体的に解き明かします。

右折時のポイント①

右折しようとした車と、直進しようとしたバイクとの衝突事故。
⇒対向車の脇を走ってくるバイクの有無を確認していなかった。その背後に「早く行かなければ」という焦りの気持ちがなかったか？自分を客観的に見ることが必要です。

右折時のポイント②

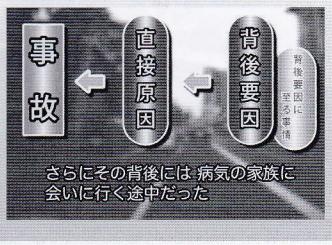
右折しようとした車と、右後方から来た歩行者との衝突事故。
⇒対向車ばかりに気をとられ、その周囲に注意が向けられなかったのでは？私たちは同時に複数のものに注意を向けるのは難しいが、時間をずらせばどちらにも注意することができます。確認する箇所と順番を決め、身体に覚えこませるのも有効です。

一時停止時のポイント

車と自転車との出会いがしらの事故。
⇒一時停止でしっかり止まり、交差する左右の道路の状況を確認することが大切です。

安全運転をするために

交通事故には、確認のし忘れや速度超過などの直接原因があり、その背後には、考え事をしていた、焦っていた、イライラしていたなどの背後要因があります。自分を冷静に見つめ、背後要因を意識するのも事故防止の重要なポイントです。



■映像提供：国立大学法人　東京農工大学

企画・制作・・・東映株式会社
テレビ朝日映像株式会社

2017年作品

関東営業推進室　東京都中央区銀座3-2-17　〒104-8108　☎03−3535−3631
関西営業推進室　大阪市北区梅田1-12-6　〒530-0001　☎06−6345−9026
広島出張所　広島市中区橋本町5-2　〒730-0015　☎082−511−2066
福岡出張所　福岡市博多区中洲4-3-18　〒810-0801　☎092−262−3101

北辰映像株式会社
〒350-0461　埼玉県入間郡毛呂山町中央 3-32-3
TEL:049-298-5792　FAX:049-298-5793
E-mail : co@hokushineizo.com